

平成25年度

社会福祉法人慈照会事業報告

通所介護事業

短期入所生活介護事業

訪問介護事業

居宅介護支援事業

介護老人福祉施設事業

ケアハウス事業

## 平成25年度社会福祉法人慈照会事業報告

### 1. 総括

会計年度における我が国経済は、金融・財政政策の効果を背景に円安・株高の傾向となり、デフレ脱却と景気回復の期待感が高まったものの、消費税率引き上げによる景気への影響の懸念もあることから依然として不透明な状況となった。

急速な少子高齢化の中、2000年に54.9万人の介護人材は2010年には133.4万人と10年間で2倍以上に増加し、さらに2025年に237～249万人とさらに100万人以上増加が必要であると試算されている。引き続き人材確保と育成、定着を最重要課題と位置づけ、人材を育成できる職員体制の整備とともに、エイデル研究所と協働し、職員の求められる職務行動作成、新給与制度整備を進めた。求められる職務行動作成では、職員アンケートを実施し、プロジェクトチームを中心として作成した。次年度人事考課を開始するが、職員の育成と定着につながる人事制度となるよう運用していきたい。

継続的に職場環境の整備を進め、高額なものとしては介護労働環境向上奨励金の300万円助成による特養車椅子入浴装置（ライラック）更新（600万円）、リースによるデイ、ショートライラック更新（600万円）を実施した。また、平成22年以降増加していた使用水量が、漏水箇所の修繕工事によりようやく解消し、約90万円が還付された。

6年に一度の介護保険法による事業者指定更新の時期であり、通所介護、認知症対応型通所介護、介護老人福祉施設、訪問介護、居宅介護支援事業所について、9月に居宅サービス実地指導があり、1月、2月に更新手続きを行った。また、平成26年4月の消費税引き上げに伴う、介護報酬改定と食費等の料金変更について対応した。

収入については、昨年比で介護老人福祉施設、短期入所、通所介護が減収、居宅介護支援、訪問介護が増収となったが、全体としては昨年を下回った。職員体制としては、正規職員2名増、準職員1名減となり年度末職員数は81名となった。

社会福祉法人として、年間を通じて地域交流、地域貢献、緊急在宅サービスに対応、安心して暮らせる地域づくりに貢献するべく活動した。

#### ※重点目標

##### (1) 職員教育体制の充実とキャリアパスへの取り組み

新人事制度として新しい給与制度づくりを進め、プロジェクトチームを中心に求められる職務行動基準を作成した。施設内研修会を10回実施した。

##### (2) 人材確保と働きやすい職場づくりによる職員の定着

新規学卒者3名を確保、派遣職員4名を直接雇用に移行した。職員食事会をグループ別に2回実施。月間MVP2回実施。介護労働環境向上のため車椅子入浴装置を更新した。

##### (3) 地域交流と貢献

東近江介護サービス事業者協議会会長、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会会長、滋賀県老人福祉施設協議会理事として年間を通じて活動し、新たな知識見識を施設の職員に情報提供した。活動による地域貢献とネットワーク強化も進めた。地域交流と貢献についてはその他事業参照。

## 2. 事業別重点目標

【通所介護事業】（定員：通常規模型30名、認知症対応型12名）

新規利用者は40名（昨年比133%）であったが、一日平均利用人数は26.9名（昨年比98.1%）と特に後半に利用が伸び悩んだ。収入目標75,000,000円は達成した。

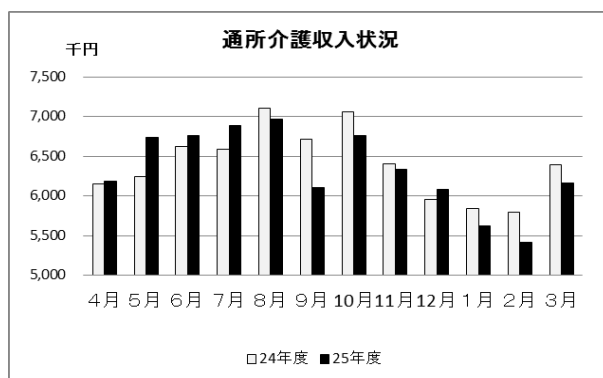
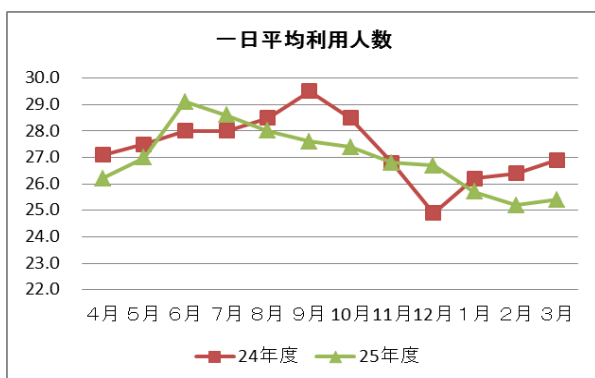
重点目標：お客様の処遇の把握を行い一人ひとりに合った援助を行う

通所介護計画の周知とそれに基づくサービスの実施、担当制による処遇の見直し・アセスメントの実施を徹底する。認知症対応型のサービスの内容、質の向上を進める。

結果：定期的なアセスメントの実施により、お客様の処遇について理解が進み、職員全員の意識を高めることができた。また、心身の状態の変化に応じた介護ができるようになった。認知症対応型サービスについては、スケジュール表を作成し実施したが、お客様によって実施困難な内容が含まれており、課題が残った。

### 利用状況

	営業日数	利用実人員	新規利用者	一日平均利用人数			
				介護予防	認知症対応型	通常規模	合計
4月	26	82	4	1.4	2.4	22.4	26.2
5月	27	82	4	1.4	3.3	22.3	27.0
6月	25	85	5	1.5	3.7	23.9	29.1
7月	27	87	4	1.4	3.2	24.0	28.6
8月	27	83	3	1.4	3.1	23.5	28.0
9月	24	84	3	1.6	3.0	23.0	27.6
10月	27	81	2	1.3	3.4	22.7	27.4
11月	26	79	1	0.9	3.0	22.9	26.8
12月	25	83	2	0.8	3.0	22.9	26.7
1月	24	84	3	1.0	2.7	22.0	25.7
2月	24	82	4	1.0	2.5	21.7	25.2
3月	26	88	5	0.9	1.9	22.6	25.4
年間	308	1000	40	1.2	2.9	22.8	26.9



【短期入所生活介護事業】（定員：16名）

新規利用者76名（昨年比91.5%）、平均利用人数は16.6名（昨年比93.7%）となり昨年を下回る利用状況となった。収入目標82,000,000円は達成し、プラス補正した。

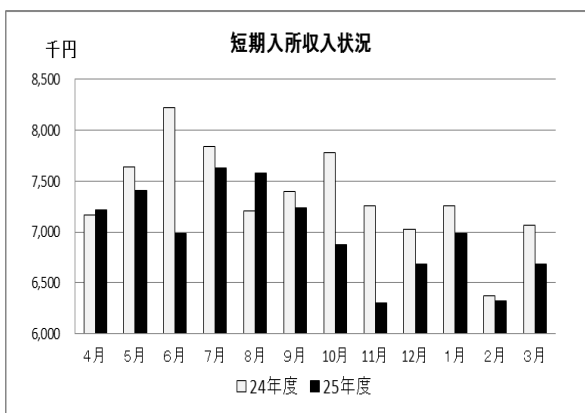
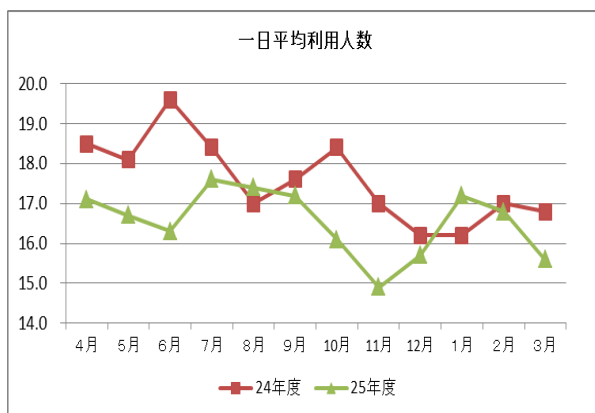
重点目標：お客様と寄り添う時間の充実

短期入所介護計画に基づくサービス提供、居室環境の充実により、お客様個々の生活を大切に、職員、お客様が笑顔で過ごせる関わりのもてる体制にする。

結果：ケアカンファレンスに参加し職員間にて共有することで、在宅や他のサービスでの様子を知ることができたが、決定事項を周知徹底することができず、実施できていないものもあった。お客様個々に合わせたケアができず、職員の業務の流れに合わせたケアになっているところがあった。居室整理の担当者を決めることで皆が責任を持って取り組むことができ、お客様にゆっくりと休んでもらう空間づくりが進んだ。事前に入居者に合ったベッドの配置、必要物品を用意することで、お客様をスムーズに迎えることができた。

利用状況

月	新規利用者	利用実人員	一日平均利用人数	ベッド稼働率(%)
4月	9	90	17.1	106.9
5月	3	86	16.7	104.2
6月	4	85	16.3	101.9
7月	5	92	17.6	110.1
8月	1	83	17.4	108.9
9月	9	90	17.2	107.5
10月	5	86	16.1	100.6
11月	8	77	14.9	93.3
12月	10	82	15.7	98.4
1月	10	84	17.2	107.7
2月	5	71	16.8	104.7
3月	7	77	15.6	97.8
年間	76	1003	16.6	103.5



### 【訪問介護事業】

職員の退職もあり、職員体制の厳しい一年であったが、延訪問件数は13,264件（昨年比106.7%）と伸びた。収入目標38,000,000円は達成し、プラス補正した。

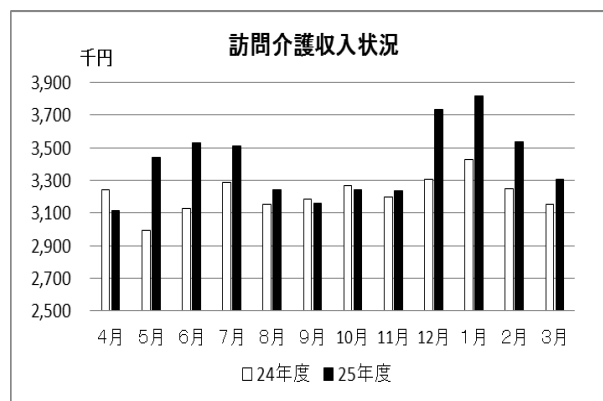
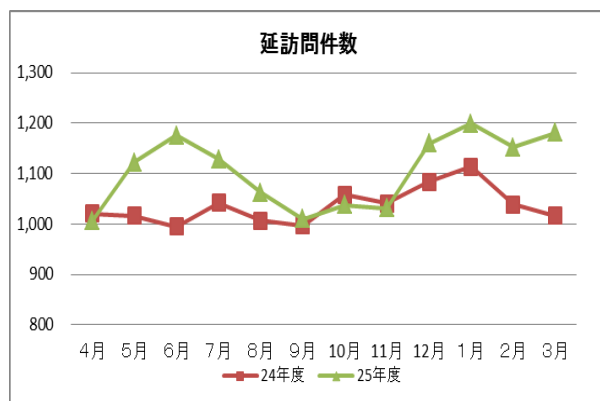
**重点目標：**在宅サービスを支えるプロのサービスの徹底

多方面の知識と情報、基本介護技術、生活援助者としての倫理観、価値観を向上させ、ニーズの解決に努める。常にお客様の邪魔にならないように、安全を第一に考え毎日が恙なく安心して過ごしていただけるように支援する。

**結果：**死亡、施設入所、入院、休止による解約が40件以上あり安定した利用ではなかったが、新規の依頼、困難事例に対応し、お客様のニーズ解決に努めた。ケアレスミスや事故の発生もあったが、全ヘルパーが同じケアができるように繰り返し話し合い、サービスの標準化を進めた。信頼関係を損なわないよう細心の注意を払った。施設内研修会の機会を積極的に活用し、知識、技術向上に努めた。

### 利用状況

月	予防		介護		予防+介護	
	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数	利用実人員	延訪問件数
4月	13	83	43	924	56	1007
5月	12	77	47	1045	59	1122
6月	12	73	47	1102	59	1175
7月	11	60	52	1068	63	1128
8月	10	68	45	994	55	1062
9月	13	75	48	935	61	1010
10月	13	87	43	950	56	1037
11月	14	83	43	948	57	1031
12月	13	81	47	1079	60	1160
1月	15	90	45	1109	60	1199
2月	13	77	47	1075	60	1152
3月	13	71	47	1110	60	1181
年間	152	925	554	12339	706	13264



### 【居宅介護支援事業】

新規利用者が34件（昨年比89.4%）、年間プラン件数は1132件（昨年比109.3%）と伸びた。上半期は順調に新規依頼件数が増加したが、下半期は入院、死亡が続いた。5月より特定事業所加算を取得し収入目標13,200,000円は達成し、プラス補正をした。

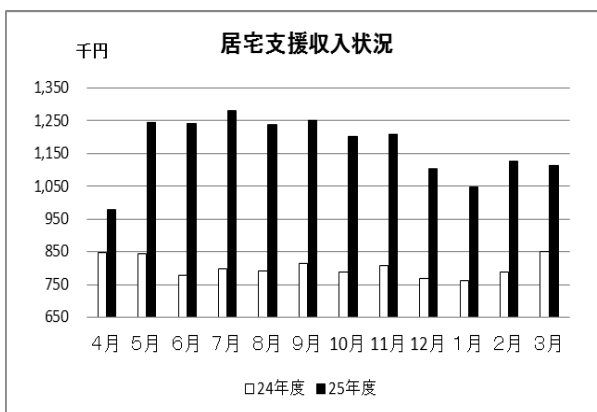
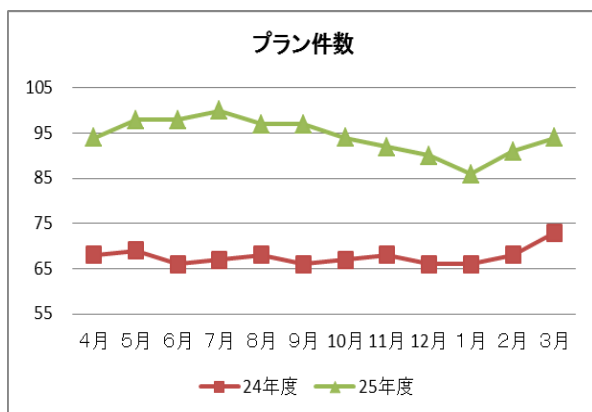
#### 重点目標：ケアプランの充実

介護支援のための各サービス事業所間の連携が重要になってきており、その基点となるケアプランの質が介護生活の質に反映される。アセスメントから具体的なプラン作成に至る一連の流れを大事にして質を求めたい。

結果：ケアプランについては、月1度部署内会議にてインテーク段階からサービス各要素（総合支援表、長期短期目標、サービス内容、週間計画、サービス担当者会議、モニタリング）の検討を行った。特定事業所加算の取得にかかる取り組みが、質の向上に結びついた。9月の実地指導にて、揃えるべき書類、抑えるべきポイントを確認できた。

### 利用状況

月	新規利用	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
4月	3	8	14	31	17	15	4	5	94
5月	6	7	12	34	20	14	5	6	98
6月	1	7	10	36	20	14	4	7	98
7月	2	7	10	37	19	17	3	7	100
8月	2	6	12	34	17	17	4	7	97
9月	3	7	10	36	17	14	5	8	97
10月	2	8	8	37	16	12	5	7	94
11月	1	7	7	38	15	12	5	5	92
12月	3	9	9	37	15	9	5	5	90
1月	2	10	10	32	19	8	5	4	87
2月	4	11	11	34	20	8	5	5	91
3月	5	10	10	35	23	8	5	4	94
年間	34	97	123	421	218	148	55	70	1132



【介護老人福祉施設事業】（定員：54名）

入院者の増加により一日平均在居人数は49.2名（昨年比97.2%）となり、昨年を下回った。収入目標190,000,000円は達成できず、マイナス補正した。

重点目標：ご本人、ご家族との信頼関係の構築を図り、介護力アップに繋げる

担当者としての入居者の把握とコミュニケーションの徹底、定期的な家族との交流により、全体的な介護力をアップさせる。

結果：出勤職員の写真入りネームプレート、各居室の入居者担当ネームプレート掲示は、個々の責任を明確に示し、ご家族の安心感や信頼感につながった。定期的な入居者の状態の報告や個々の環境整備に関しては、限られた担当のみの活動に止まり課題が残るが、ご家族訪問時のあいさつも改善し、前年のコミュニケーション不足から生じた重大な苦情発生から改善への具体的な取り組みに結び付けることができた。家族会は今年度初めての取組として、5月、6月、10月、11月に開催できた。普段の食事の内容や様子を理解してもらえたこと、家族と一緒に食事等を楽しみながら、なごやかに交流の時間を持てたことは意義深い。

平成26年3月31日現在

入退居状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	2	0	0	2	1	0	1	1	1	1	2	2	13
退居	0	1	1	2	0	0	1	1	2	2	2	1	13
在籍者数	54.8	54.3	53.8	53.1	53.8	54.0	53.6	53.9	53.4	53.4	53.0	53.0	53.7
在居人数	51.4	49.1	45.1	47.8	51.5	51.0	50.8	49.4	47.4	47.1	49.3	50.2	49.2

入居者在居期間

	男性	女性	平均
平均在居期間	50.7ヶ月	44.9ヶ月	45.2ヶ月

在居期間	男性	女性	実数	構成比(%)
1年未満	0	12	12	22.2
1年以上2年未満	0	4	4	7.4
2年以上4年未満	2	20	22	40.7
4年以上6年未満	1	6	7	13.0
6年以上8年未満	0	3	3	5.6
8年以上10年未満	0	2	2	3.7
10年以上	0	4	4	7.4
合計	3	51	54	100.0

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
70～74歳	0	2	2	3.8
75～79歳	1	4	5	9.4
80～84歳	0	11	11	20.8
85～89歳	1	14	15	28.3
90～94歳	0	14	14	26.4
95～99歳	1	5	6	11.3
100歳～	0	1	1	1.9
計	3	51	54	100.0

	男性	女性	全体
最高年齢	97	100	100
最低年齢	78	72	72
平均年齢	86.3	87.5	87.4

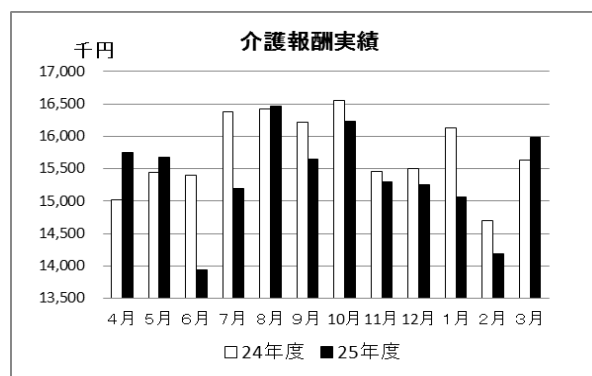
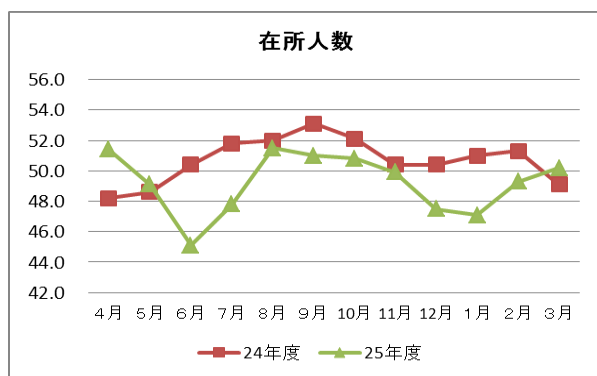
要介護度別入居者状況

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
入居者数	2	13	15	14	10	54
構成比 (%)	3.7	24.1	27.8	25.9	18.5	100.0

平均要介護度 3.31

待機者数

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	17	30	50	65	27	189
構成比 (%)	9.0	15.9	26.4	34.4	14.3	100.0





【ケアハウス事業】（定員：15名）

待機者の確保については、見学や相談は増加したものの、入居可能な方の申し込みが少なく、実質個室4名の待機者となっている。二人部屋入居者確保が引き続き課題となった。

重点目標：身体機能維持と認知症予防

重度化予防として、身体機能維持と認知症予防に努めると共に、入居者ニーズへの迅速な対応を心がけ、充実したケアハウス生活が継続できるよう支援する。

結果：認知症予防や身体機能の維持等において、入居者が物足りなさを感じている様感じた。実施している内容は、最低限の取り組みと考え、今後は創意工夫して各種予防に取り組まねばならない。行事についても、入居者のADLや人間関係等の些細な理由により、実施出来ない事もあった。今後は入居者懇談会での意見にあったように、外出の機会を増やし、少しでも快適に暮らせるように考えていきたい。

平成26年3月31日現在

入退居状況

項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
入居	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	3
退居	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2
入居者数	13	13	12	12	12	12	13	13	14	14	14	14	13

平均入居年数 男性9年 女性 5年4か月 全体 6年5か月

入居者年齢状況

年齢	男性	女性	計	構成比 (%)
65～69歳	0	0	0	0
70～74歳	0	1	1	7.1
75～79歳	0	1	1	7.1
80～84歳	1	3	4	28.6
85～89歳	1	0	1	7.1
90～94歳	1	4	5	35.8
95～99歳	1	1	2	14.3
100歳～	0	0	0	0
合計	4	10	14	100.0

最高年齢 男性 97歳 女性 97歳

最低年齢 男性 83歳 女性 71歳

平均年齢 男性 90.1歳 女性 86.3歳 全体平均 87.5歳

入居者要介護度

介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
人数	3	1	2	4	1	1	2	0	14
構成比 (%)	21.4	7.1	14.3	35.7	7.1	7.1	14.3	0	100

待機者： 個室 4名 二人部屋 なし

### 3. その他事業

#### 【配食サービス】

年間営業日数245日、食数386食（昨年比100%）、一日平均食数1.6食であった。

#### 【人事考課取り組み】

##### 1. 求められる職務行動作成プロジェクト 会議開催数8回

6月6日、7日	求められる職務行動作成について 職員説明会
6月	求められる職務行動職員向けアンケート実施
平成26年4月8日、9日	求められる職務行動完成版説明会

##### 2. 給与制度プロジェクト 会議開催数9回

平成26年4月3日、4日	新給与制度職員説明会
--------------	------------

#### 【委員会活動等】

##### （研修教育体制チーム） 会議開催数8回

施設内研修会を7回、月間MVPを2回実施。求められる職務行動作成プロジェクトチームとして活動。

##### （事故・苦情防止委員会） 委員会開催数6回

7月苦情防止強化月間、11月事故防止強化月間を実施。リスクマネジメント研修会を2回実施。

##### （環境整備委員会） 委員会開催数3回

除草作業、窓拭き、エアコンフィルターの清掃について計画、実施。夏祭り打ち上げ、忘年会を企画実施。ポスターの掲示等感染症の啓発に取り組む。

#### 【衛生委員会】

月1回テーマを設けて衛生委員会を実施。

4月	年間計画及び議題について	10月	下半期議題について
5月	福利厚生について	11月	感染症について
6月	食中毒について	12月	防災について
7月	熱中症対策について	1月	メンタルヘルスについて
8月	交通安全対策について	2月	労働対策について
9月	腰痛対策について	3月	施設内環境について

#### 【月間MVP】

お互いを認め合う職場作りとして月間MVPを2回実施し、計7名を表彰した。

第1回テーマ「きちんとしてるで賞」 期間：7月～8月

第2回テーマ「対応早いで賞」 期間：1月～2月

### 【職員研修】

外部研修及び会議に年間延174名を派遣するとともに、施設内研修会を実施した。

#### ※施設内研修会

実施日	テーマ	講師	参加者数
4月1～4日	新人職員入社時研修	法人職員	3名
5月27日	普通救命講習	東近江行政組合八日市消防署救急係	16名
7月9～15日	食中毒予防ビデオ研修		63名
7月16日	腰痛予防	介護労働安定センター 河村美佐子氏	30名
8月21日	リスクマネジメント研修Ⅰ	滋賀県介護福祉士会 砂田貴彦氏	25名
9月18日	人権学習会	森 啓祐氏	30名
10月15日	職場でのコミュニケーション	クローバー 代表 中村 真理氏	35名
11月7日	高齢者の尊厳と身体拘束廃止	滋賀県介護福祉士会 村田美穂子氏	26名
1月17日	感染症予防について	日野記念病院 安藤 一義 氏	36名
3月11日	リスクマネジメント研修Ⅱ	滋賀県介護福祉士会 砂田貴彦氏	27名

### 【地域交流・貢献】

地域交流、地域貢献は社会福祉法人の最重要テーマであり、様々な取り組みに参加、実施した。

日付	内容	参加者数
4月12～14日	青葉主催作品展示会参加	90名
6月27日	建部幼稚園交流会	53名
7月 5日	建部民協会議	10名
8月 4日	カルナ納涼夏祭り	350名
9月15日	カルナ敬老会	218名
9月29日	建部幼稚園・すみれ保育園運動会	6名
9月29日	第7回建部あったかネット訓練	8名
11月28日	建部幼稚園交流会	65名

### 【消防・防災】

総合訓練を5月、10月の2回、夜間想定避難訓練を7月、3月の2回実施した。

【ボランティア、実習生の受け入れ】

多くの団体、個人のボランティアの皆様にご支援とご協力を頂いた。また、多くの実習生等を受け入れた。

実習・施設見学
<p>&lt;学校関係&gt;</p> <p>◇聖徳中学校 職場体験実習 2名    ◇滋賀学園高校 ヘルパー2級同行訪問実習 19名、</p> <p>◇びわこ学院短大 介護福祉士養成コース 施設現場実習 4名</p> <p>&lt;その他機関&gt;</p> <p>◇介護労働安定センター 実務者研修 2名</p> <p>◇歯科医師会 歯の健康推進歯科医師等養成講習施設見学 2名</p>
ボランティア
<p>&lt;団体&gt;</p> <p>◇ きねづかバンド（バンド演奏）    ◇子供合唱団スマッシュ（コーラス）◇すみれ会（大正琴）</p> <p>◇ 二胡っ娘（二胡演奏）    ◇ フェイシャルセラピスト協会（リハビリメイク）</p> <p>◇ 日野ダイヤモンドクラブ（歌謡）◇ さわやかクラブ（歌謡）    ◇ とおりゃんせ（童謡）</p> <p>◇八重桜会（日本舞踊）    ◇大塚歩花会（銭太鼓、玉すだれ）    ◇蒲生ナツメロクラブ（歌唱）</p> <p>&lt;団体&gt;</p> <p>◇ ひまわり会（喫茶・夏祭り）    ◇ 杉の子会（夏祭り）    ◇ アルティ（夏祭り）</p> <p>◇ ワークホームズ（夏祭り）    ◇ 湖東信用金庫（夏祭り）    ◇ 滋賀銀行（夏祭り）</p> <p>◇ 建部自警団第4分団（夏祭り）    ◇ 建部民生児童委員（除草作業・夏祭り）</p> <p>◇ 建部日本赤十字奉仕団（除草作業・窓拭き）</p> <p>&lt;個人&gt;</p> <p>◇ 大江昌巳様（ハーモニカ演奏）    ◇ 松田俊二様（ホルン演奏）    ◇井下 正様（讃岐うどん作り）</p> <p>◇ 木村昭雄様（ヨシ笛、手話）</p>

#### 4. 慈照会年間行事

4月	1日 入社式 1日 職員会議 (事業計画、予算、新人紹介等) 18日 第1回経営会議	10月	15日 職員健康診断 17日 第7回経営会議 17日 第2回食事会 (Aグループ) 22日 第2回総合避難訓練 28日 入居者健康診断 30日 インフルエンザ予防接種
5月	21日 消防設備機器点検 23日 第2回経営会議 23日 第1回食事会 (Aグループ) 24日 第1回総合避難訓練 (消防立会) 27日 監事監査 28日 第1回評議員会、理事会	11月	5~26日 文化月間 (展示) 7日 消防設備機器点検 (2回目) 16日 滋老協研究大会参加 (5名) 21日 第8回経営会議 21日 第2回食事会 (Bグループ)
6月	20日 第3回経営会議 20日 第1回食事会 (Bグループ) 30日 建部民協中庭除草作業	12月	19日 法人忘年会 19日 第9回経営会議
7月	18~19日 近畿老人福祉施設滋賀大会 (7名参加) 22日 第4回経営会議 25日 第1回夜間想定避難訓練 28日 建部日赤除草奉仕作業	1月	1日 年賀式 16日 第10回経営会議
8月	4日 カルナ納涼夏祭り 7日 夏祭り打ち上げ 22日 第5回経営会議	2月	19日 第11回経営会議 25日 第2回評議員会、理事会 27日 寒ブリ祭り
9月	10日 在宅サービス実地指導 15日 カルナ敬老会 19日 第6回経営会議 19日 第1回食事会 (Cグループ) 28日 新規学卒者入社試験	3月	17日 第12回経営会議 25日 夜勤者健康診断 25日 第2回夜間想定避難訓練 26日 第3回評議員会、理事会 26日 第2回食事会 (Cグループ)

※その他施設内会議

スタッフ会議 (週1回) デイショート会議 (月1回) ヘルパー会議 (月1回)

居宅介護支援事業所会議 (月1回) 特養会議 (月1回) ケアハウス会議 (月1回)

事務会議 (月1回) 給食会議 (月1回)